



手話を考えるフォーラム終了

第24回手話を考えるフォーラムが、9月21、22日、流山にて開催されました。当日はお天気が気になりながらも、たくさんの方にご来場いただき手話サークルとしての『防災』について学ぶ事が出来ました。参加者は報告書が楽しみです！

参加者感想

【第2分科会助言者・外口】

巨大地震の可能性が高まっていると言われている中、昨今では巨大台風による自然災害が数多く発生し、このフォーラム期間中にも能登半島の豪雨災害が起きました。

身近に迫る災害に対して、私自身も大変勉強になった2日間でした。

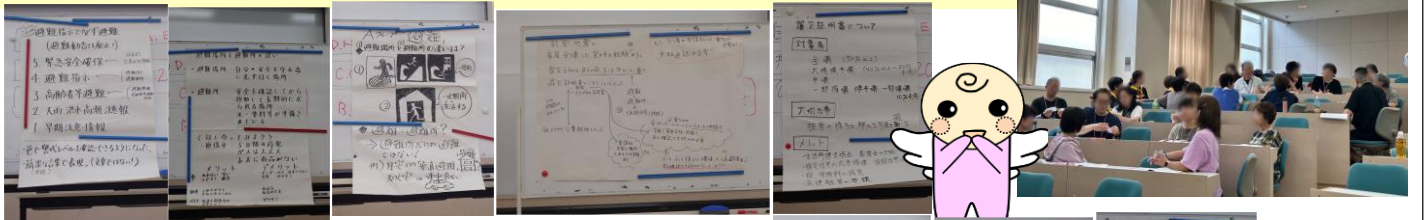
【第2分科会司会者・尾崎】

多くの方が参加して下さいで大変嬉しく思いました。

意見交換も活発に行われ、毎回の話し合いや発表で、時間が足らなくなる程でした。

話し合いの中で、「人を助けられるのは人なんだ」と再認識できました。

おかげさまで素晴らしい分科会になりました。本当にありがとうございました。



1日目だけの参加でしたが、聞こえない人の防災について、多くの参加者と共に考えることができました。

【第2分科会参加者コメント】

初の参加で2日目のみでしたが、参加した第2分科会、防災・減災について様々なお話を聴けてとても良い勉強になりましたし、楽しかったです。また、グループ代表で発表する場も頂け大変有意義でした。関係者の皆様ありがとうございました。



【第1分科会助言者・田中】

テーマは「BCP 対策」事業所経営者やらいおんグループからの過去の災害時の現場でのお話は今後についての勉強になりました。私達サークル員が出来ることは、聞こえない障害を周囲に理解してもらう為の運動、これに尽きます。

【第3分科会助言者・藤井】

5グループでの活発な討議では、ろう者にとってサークルが身近な存在であると改めて感じました。防災関連の手話についても確認し、通じる事、1人にしない事の大切さを再認しました。二日間楽しかったです。

【第4分科会助言者・浜田】

どこでも起こる災害から、命を守るために何ができるのか？日頃からお薬手帳や防災カードの携帯、また聞こえないことの発信が大切です。では、手話サークルとしては何ができるのか、改めて考える良い機会になりました。

サークル紹介

特集 22 号
南総ブロック
市原市・根の会の巻～♪



県サ連に再加入

手話サークル根の会は、昭和52年(1977年)に設立し、手話の学習や交流、行事など様々な活動を通して聴覚障害者の福祉向上を目指すため、市原市内で活動しているサークルです。

現在会員は、小学生から80代までと幅広く、42名(8月末現在)が在籍しています。

ここ数年、見学者が急増し、会員数が倍増しました。

創立47年の歴史あるサークルではありますが、現会員の約75%は令和元年以降の入会者なので、先輩方の安定感とフレッシュなパワーが混在する活気あるサークルです。

令和6年度から県サ連に再加入しました。よろしくお願いいたします。



例会は毎月3回

例会は、各月の担当者が中心となって学習内容を準備します。ゲーム感覚で楽しく学んだり、テキストを使って手話表現を学んだり、毎回ちがうテーマで学習します。

ろう者が手話単語やわかりやすい表現の仕方、年齢や地域による表現の違いなどを丁寧に指導してくれるので、毎回新しい学びがあり、手話の奥深さを実感します。

例会以外にもゲーム大会、押し絵教室、お茶会なども企画し、会員同士やろう者との交流の場を設け、例会での学習とは違う学びを得られる機会も大切にしています。

市原市内で開催されるイベントにも、ミニ手話教室や手話コーラス、パネル展示のコーナーに協力参加したり、小・中学校の手話指導に同行したりと、市原市ろうあ協会や手話サークルすみれとも協力して活動を続けています。

行事も積極的に



初挑戦!

先日は小学校から依頼を受け「手話校歌」に初めて取り組みました。校歌の歌詞の意味を読み込み、歌詞に合う手話を選び、子どもでもわかりやすい表現を工夫するなど、市原市ろうあ協会の協力を得ながら準備を進めました。

小学生が一生懸命に練習している姿や全員で手話校歌を合わせたときの会場の一体感はとても感動的でした。

今後もサークル員自身が楽しく学び、それを発信していくことで手話の素晴らしさや聴覚障害者への理解が広まるような活動を続けていきたいと思っています。

【手話サークル根の会例会】

毎月第1・3・4水曜日(祝日は休み)午後7時～9時
八幡公民館2階 視聴覚室(市原市八幡1050-1)

第4回役員会議9月1日オンライン開催

分担金上限撤廃について、手話を考えるフォーラム第2分科会について、
かわら版について、秋穫祭出店について 他



県サ連ホームページ <http://www.kensaren.sakura.ne.jp/>

発行：千葉県手話サークル連絡協議会 責任者：外口晴久